

# 令和3年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	公民・現代社会	単位数	2	対象学年・組	3年A・B・C・D・E・F組(全クラス)
教科書 使用教材	高等学校 新現代社会(帝国書院)	教科担任	小林 大輔		

## 1. 目標

- ・現代社会の基本的な問題について公正に判断する力を養う。
- ・良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## 2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義の変遷</li> <li>・経済活動と私たちの生活</li> <li>・経済の循環と分業</li> <li>・市場のメリットと限界</li> <li>・企業の役割と経済の変動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済社会の変容について理解させる</li> <li>・経済主体(家計・企業・政府)と経済循環について理解させる</li> <li>・市場経済と価格、独占と寡占、市場の失敗について理解させる</li> <li>・国富と国民所得、物価変動について理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な事項を中心に学習を重ね経済への視野を広める</li> <li>・現代の経済社会について多角的に考察できるようにする</li> </ul>	20
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の変遷</li> <li>・日本国憲法</li> <li>・平和主義と安全保障</li> <li>・基本的人権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終戦直後の日本経済～高度成長バブル、失われた30年までを理解させる</li> <li>・日本国憲法成立までの過程と二つの原理(基本的人権の尊重・国民主権・平和主義)について理解させる</li> <li>・平和主義と安全保障について理解させる</li> <li>・基本的人権の詳細を理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代史」と「日本国憲法」・平和主義・安全保障・基本的人権を理解する事により社会を形成する一員としての自覚を養う</li> </ul>	22
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の政治機構と選挙制度</li> <li>・現代社会の諸課題</li> <li>・現代の社会と自己実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の政治機構と18歳選挙権の意義について理解させる</li> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー、情報化、少子高齢化、大衆化、等について理解</li> <li>・青年期の意義と自己実現、先哲の思想や世界三大宗教について理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の一員として必要な知識を身につけ、社会に参画する準備をする</li> </ul>	10

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

※「現代社会」という、科目の特性上、適宜「ニュース」や「トピックス」を取り入れるなど、個々の生徒の実態に応じた授業を行っていくこと等から、各クラスにより、進度の差や順序の変更等が生ずる場合がある(「年間を通して」同一内容を学習する)。

## 3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

- ① 教科書・資料集・ノートを毎時間忘れずに用意する。
- ② 暗記とともに、考えることにも重点を置く。
- ③ 授業中の積極的な発言や質問を心がける。

## 4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

- ① 授業態度

② 提出物

③ 定期考査

以上を総合して、評価を行う。